

令和3年度文化芸術振興費補助金メディア芸術アーカイブ推進支援事業

公益財団法人東京都歴史文化財団東京都写真美術館

東京都写真美術館所蔵作品・資料の保存修復とデジタル化

概要

東京都写真美術館の収蔵映像作品・資料、および主催事業に関連する作品・資料のなかで、メディアアート作品と映像作品の調査、保存、修復、デジタル化、アーカイブ化の作業を継続的にこなってきた。

今年度は（１）インスタレーション作品、インタラクティブ作品、コンピュータ・ベース作品の対象作品として、藤幡正樹《Beyond Pages》（1995年）を調査、検証し、作品に使用されているハードウェアとソフトウェアの修復を行った。《Beyond Pages》は、机に投影された本のページをめくることができるインタラクティブな本をテーマにした作品で、1995年に発表された作品を含め、3作品が現存する。写真美術館所蔵となる作品のハードウェアは、1996年発売のApple Power Macintosh 7600を用いて制作されている。ソフトウェアの互換性があるPower Macintoshシリーズの販売が2006年に既に終了している。またソフトウェアの観点からも、使用されているMacromedia Director（後にAdobe Director、以降「Director」と表記）は開発元であるMacromediaのAdobeによる買収（2005年）を経て、2017年に販売・サポートが終了しているため、今後の保存を考えるとハードウェア、ソフトウェアの改修再製作が必要ということになった。Beyond Pages再製作にあたり、まずは既存のハードウェア・ソフトウェアを解析し、資料としてドキュメント化し、新規にハードウェア・ソフトウェアの再製作を行った。また既存の机や椅子の経年劣化にともない、机を再制作した。

経年劣化が問題となる（２）映像作品に関しては、前年度に引き続き、飯村隆彦のフィルム作品から《AI（LOVE）》（1962年）の4Kスキャン作業を行った。1960年代に制作された作品のため、オリジナル素材の劣化、再制作における技術的、予算的な問題などのため、写真美術館収蔵作品の4Kまでのデジタルデータの作成までを行った。フィルムのデジタル化は、フィルムの修復保存とは等価ではなく、デジタルデータの寿命は、未だマイグレーションを含め、100年の長期性を確保しているフィルム保管が最も適切とされているため、将来的な保存のためには、保存修復したデジタルデータの完成版からニュープリントを作成する必要がある。前年度の課題と同様、デジタルデータのためのストレージおよびインフラ整備のランニングコスト等への予算は常時必要となるため、保存修復をする作品を厳選するための過程に注意した。

体制／手法

（１）進行/調整：東京都写真美術館事業第二係（映像部門）

制作監修：藤幡正樹（作者）

ソフトウェア修復・開発：川嶋岳史

ハードウェア修復：HIGURE 17-15 cas 株式会社

（２）進行/調整：東京都写真美術館事業第二係（映像部門）

フィルム 4K スキャン・修復：東京光音

（成果物）

（１）

- ・ 藤幡正樹《Beyond Pages》（1995 年制作）の調査・修復
- ・ 藤幡正樹《Beyond Pages》（1995 年制作）展示に関する

インストラクション制作

（２）・飯村隆彦《AI（LOVE）》（1962 年、13 分）の 4K スキャン

（公開方法）

- ・ 成果物情報の公開は東京都写真美術館 HP にて収蔵作品情報を

公開予定 <https://collection.topmuseum.jp/>

（令和 4 年 4 月 1 日以降）

- ・ 成果物の公開は、令和 4 年度以降の東京都写真美術館における展示で発表する。

(残された課題)

- ・ハードウェア、ソフトウェアの修復には費用と時間が必要なため、詳細な実験を行う機会を複数持って、検証したい。

- ・コロナ禍においては、コミュニケーションが遠隔になり、詳細について議論する時間などがとりにくかった。

- ・展示、上映という形での発表することで生じる新たな課題の検証や、

《Beyond Pages》に関しては、他 2 作品との比較検証、インタビュー調査また《AI (LOVE)》に関しては、作品の発表履歴の検証を可能な範囲で行う必要がある。

(文化的・社会的・経済的な意義)

以下内容をレポート化し来年度紀要等にて公開

- ・映像インスタレーションやタイムベースド・メディア保存修復のプロトタイプを提供する

- ・黎明期のメディアアート作品の技術面の理解を深めていく。

- ・映像・メディアアート史を学生層が理解していく際の教科書的役割を担う。